

舞台アート工房・劇列車
人形と人間の演劇作品

児童青少年演劇のための劇作家養成講座脚本賞受賞作品
P新人賞受賞記念久留米公演

一番聞いてほしいことは、一番言いたくないこと。

終演後『対話のひろば』付（参加希望者のみ）

さちの物語

この公演では、寄付つきチケットも販売しています。
寄付つきチケットとは、チケット料金に「パペットシアターPROJECT（困難を抱えた子どもの無料文化体験）を支える寄付」がついたチケット。大人券1,800円との差額1,200円分が寄付となり、困難を抱えた子どもの文化体験に使われます。寄付つきチケット1枚で、大人1名がご入場できます。FAX・インターネットでのみ受け付けております。

『さちの物語～一番聞いてほしいことは、一番言いたくないこと。』

・かまほりしげる 脚本・演出・出演・舞台美術
・やながなおこ 出演・人形美術

2024年3月17日(日) 15:00 開演 (14:30開場)

石橋文化会館・小ホール [福岡県久留米市野中町1015/Tel 0942-33-2271]

大人1,800円、高校生以下500円、寄付つきチケット*3,000円、未就学児以下 当日料金
★大人料金との差額1,200円分が、困難を抱えた子どものための無料文化体験支援事業「パペットシアターPROJECT」への寄付となります。

- ◆定員140名(全席自由)
- ◆推奨年齢 小学4年生以上～大人まで
- ◆上演時間 約45分、終演後対話のひろば約30分
- ◆お問い合わせ 特定非営利活動法人舞台アート工房・劇列車
TEL 080-1702-9439(弥永) FAX 092-921-4831 Mail info@dramatrain.jp http://www.dramatrain.jp/
- ◆後援 久留米市教育委員会、公益財団法人久留米文化振興会



さちの物語

一番聞いってほしいことは、一番言いたくないこと。

中3のさちは、DVが吹き荒れる家庭で育った少女。陰湿ないじめにあい、小学校の4年生から不登校。そんなさちは、一番話したいこと、聞いてほしいことを心の奥に硬くしまいこみ、中学校に登校するようになるのですが・・・。

—— あきらめから生まれた、ちいさな希望。

「深く傷ついた心が回復する」とは、いったいどんなこと?回復のきっかけをつかむとは?この問いに正面から向き合い、この作品は生まれました。いまの時代と社会のなかで、生き難さを抱えて必死に生きている人々とともに、この問い合わせを考えあえたら・・・。この作品は、そんなことを願った物語です。

脚本担当 かまほりしげる

■日時 2024年3月17日(日) 15:00開演(14:30開場)

■前売チケット料金 (全席自由) 当日はいずれも300円増

・大人1,800円

・高校生以下500円

・寄付つきチケット*3,000円 (FAX・インターネットでのみ受付)

★『寄付つきチケット』とは・・・

チケット料金に「パペットシアターPROJECT(困難を抱えた子どもの無料文化体験)を支える寄付」がついたチケット。大人券1,800円との差額1,200円分が寄付となり、困難を抱えた子どもの文化体験に使われます。寄付つきチケット1枚で、大人1名がご入場できます。

・未就学児以下入場不可

■チケット発売日

2月3日(土)~

■チケット取扱

◇店頭販売

・石橋文化センター TEL0942-33-2271

・久留米シティプラザ情報サテライト TEL0942-36-3080

◇FAX

・下記お申し込み欄にご記入の上、Fax092-921-4831へ送信

◇インターネット

・http://www.dramatrain.jp/へアクセス。



〈会場〉

石橋文化会館 2F 小ホール
福岡県久留米市野中町1015 / Tel 0942-33-2271

〈アクセス〉

- ・西鉄バス…西鉄久留米駅より「文化センター前」下車(複数路線あり)
- ・徒歩…西鉄久留米駅より約10分
- ・駐車場…お車でお越しの方は、石橋文化センターの有料駐車場をご利用ください。

—— きっと誰もが勇気づけられる作品だ!

『野球部員、演劇の舞台に立つ!』著者 竹島由美子



貧困から生じる差別や虐待など様々な困難を背負って生きる中学生のさちは、時に激しい口調で観客に訴えかける。やがてその言葉はさち個人というよりも、いまの社会の中で「生き辛さ」を抱える多くの子どもたちの声に聞こえてくる。さちの自己回復を願う人形劇クラブ顧問の正と、変わりたいと闘うさち。そんな二人の向こうに、製作のプロセスが見えてくる舞台だ。何度も何度も考え悩み、書き直したに違いない。そして辿り着いた一つの結論。二人と五体の登場人物と製作作者たちが、妥協することなく創り上げた真摯な舞台だからこそ、観終わって腑に落ちた。「負けるな、さち!」と観客席から応援していたはずなのに、いつの間にか舞台上のさちから、背中を押されたような爽快感を覚えた。きっと誰もが勇気づけられる作品だ。

FAXでお申し込みの際は、下記項目にご記入の上 FAX 092-921-4831 へ送信ください。

ご氏名	フリガナ	〒 ご住所	TEL	FAX	
※○をおつけください。 ひ対終 ろ話演 ばの後		券種 枚数・	●大人 [1,800円] ... () 枚	●高校生以下 [500円] ... () 枚	●寄付つきチケット [3,000円] ... () 枚*
() 参加 () 不参加					★1枚で1名入場可。大人料金との差額1,200円が「パペットシアターPROJECT」への寄付。

* 定員140名。定員に達しましたら、チケット販売を終了いたします。

終演後の『対話のひろば』

劇を見て感じたことを心にそっとしまって帰る、それも素敵のこと。でも、劇をみた其他者とおしゃべりしてみると、「また違った感じ方」に気づく。そんな気づきあいが積み重なって、一人ひとりの感想が深まつたら、もっと素敵。参加してみませんか?

生まれる場。

舞台アート工房・劇列車は、上演班を保有するNPO法人として、新人賞「一郎くん」の受賞、アートの力で社会課題の克服を目的とした「さちアート」を軸に、子どもへの文化体験支援を目的とした「トシアターPROJECT」(困難を抱えた子どものための劇「さちアート」)を主作として活動しています。アートの力で社会課題の克服を目的とした「さちアート」を軸に、子どもへの文化体験支援を目的とした「トシアターPROJECT」(困難を抱えた子どものための劇「さちアート」)を主作として活動しています。

アートは、支えるちから。
歩き出すちから。



舞台アート工房・劇列車は、上演班を保有するNPO法人として、新人賞「一郎くん」の受賞、アートの力で社会課題の克服を目的とした「さちアート」を軸に、子どもへの文化体験支援を目的とした「トシアターPROJECT」(困難を抱えた子どものための劇「さちアート」)を主作として活動しています。